

別 冊

地域づくり県土警察常任委員会資料

(令和元年9月13日)

- 1 第2回よなごベイウォーターフロント検討会の開催について

【空港港湾課】……1ページ

県土整備部

第2回よなごベイウォーターフロント検討会の開催について

令和元年9月13日
空港港湾課

9月12日(木)に「第2回よなごベイウォーターフロント検討会」を開催したので、概要を報告します。

- 1 日時：令和元年9月12日(木) 午前10時～正午
- 2 場所：鳥取県西部総合事務所 講堂
- 3 検討会メンバー：

武良 賢治	米子市漁業協同組合	南 順三	米子中央食品卸売団地	鷺見 雄司	米子食品工業団地
杵築 俊朗	義方校区自治連合会	福田 憲保	米子商工会議所	下田 由美	米子商工会議所
大塚 寿史	米子市観光協会	前原 勝樹	米子工業高等専門学校	小椋 弘佳	米子工業高等専門学校
細田 佳男	国交省出雲河川事務所	八幡 泰治	米子市	杉村 聡	米子市
坂本 浩彰	鳥取県西部総合事務所	三鴨 誠	鳥取県西部総合事務所		

4 概要：

「民間企業ヒアリング」、「先進地視察の内容」及び「第1回検討会の意見」を踏まえ、米子港周辺ウォーターフロントの活用に向けた「基本コンセプト(素案)」について意見交換しました。

- ① 民間企業ヒアリングについて(7月26日～7月31日実施、応募3企業からの提案)
 - (A社)：「海・空・道の駅」「ホテル」「サテライトオフィスを中心とした交流施設」
 - (B社)：「ONOMICHI U2」のような複合施設で、遊び、学び、体験、食事、宿、仕事の「場」
 - (C社)：「大山・中海展望コワーキングオフィス」「新鮮食材マーケット+レストラン」
- ② 先進地視察について(8月22,23日視察、民間企業によるウォーターフロント活性化の事例)
 - ・ウォーターフロント活性化に精通した機関(国等)から紹介された2箇所を視察。「周辺地域と調和したストーリー性を持っていることが重要」との助言あり。

尾道糸崎港「ONOMICHI U2」	広島港「宇品デポルトピア」
<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した上屋を企業がリノベーションした複合施設 ・平成26年3月に開業 ・自転車ショップ「GIANT」、ホテル、レストラン&バー、ペーカリー・カフェ・雑貨 	<ul style="list-style-type: none"> ・荷捌地及び老朽化した上屋3棟を3社の企業が運営 ・平成17年12月から平成25年2月に順次開業 ・プライダルカフェ、ライブハウス、レストラン、インテリア・雑貨、ペーカリー
 	 

- ③ 第1回検討会の主な意見について
 - ・地元企業がこの地区の魅力を感じて投資できるようなテーマが必要である。
 - ・まちづくりとして地域の方が集う地縁型、地域外の方が集う観光型を重層的に考えれば長く利用してもらえる。
 - ・地元の商品を提供できる物産施設がほしい。
- ④ 基本コンセプト(素案)について

◇米子港周辺の地域資源を活かし、地域の活性化に寄与する拠点

◇観光客及び地元住民を対象とした飲食・物販をはじめとする賑わいの創出に資する施設

<主な意見>

- ・民間投資する上で、賑わいづくりに繋がるテーマ設定が重要。
- ・地元の小さな企業も参加できることが大事。
- ・宿泊施設は物販にも繋がる有用な施設である。
- ・地域住民が利用できるような施設にしてほしい。
- ・土曜市が開催できるようにしてほしい。
- ・中海圏域との一体的な利用も大事である。



5 今後の予定：

今回の意見をふまえ次回検討会で基本コンセプト(案)について意見交換等を行い、活性化策をとりまとめる予定です。